終了間際、相手 CK からピンチを招くが、と時久（中央）がこれをセーブする。２戦目以降、ゴールマウスを守り続けている守護神はこの日も再三に渡り日本のピンチを救ってきた。

先制ゴールを決めた藤本を祝福する選手たち。日を追うごとにチームは団結している

▲兵藤は序盤から積極的に攻撃参加し、試合を日本のペースにもっていった

◀藤本の２点目は得意の FK から生まれた

乾采配ズバリ的中 後半盛り返し勝利！

藤本がまた試合を決めた。決勝進出をかけ行われた男子サッカー、対モロッコ戦（＝アルサンジャックスタジアム）は後半２分、後半 35 分と藤本（筑波大）が２ゴール。夢の３連覇へ向け、決勝の切符を手にした。

試合は、まだ日差しの残る午後６時にキックオフ。開始 10 数秒で辻尾（中大）が倒され、ゴールエリア手前の右サイドからの藤本のフリーキックにニアに走り込んでいた赤嶺に合わせようとするがあと一歩届かず。前半 24 分には、小宮山（順大）が左サイドからセンタリングを上げ、ファーサイドにいた兵藤（早大）から中央にいた衛藤（福岡大）が流れるようなパス回しからシュート。それを赤嶺がゴールキーパーの手前で止めシュート。ゴールキーパーのファインセーブに阻まれはしたが惜しいシーンが生まれた。この後も、赤嶺をターゲットにし、サイド攻撃を進める。モロッコもシュートは打つが、精度の悪さとポストに助けられ、お互いノーゴールで前半を終えた。

後半からは前試合同様、赤嶺に代わり巻（駒大）を投入。開始２分、徳永（早大）が右サイドを一気に駆け上がり伊野波（阪南大）へ。それを中央でフリーになっていた藤本がもらい、切り込み、ディフェンス２人をかわし、ゴール左隅に決め先制した。そして、「一番活きの良い」（乾監督）原が後半 19 分に入り、巻と２人で相手ディフェンスを掻き回す。焦ったのか相手はゴールエリア手前で巻を倒して、モロッコの 17 番 ＮＥＪＩＭが一発レッド。その得たフリーキックを藤本がそのままゴール左隅に決め、後半 35 分に２点目をもぎ取った。「自信がありました」と試合後に藤本。そして最後は必勝パターン。巻を１トップにし、金澤、唐井を投入し守り固め。数的有利ということもあって相手のパワープレーからも逃げ切り、２－０で勝利した。

不安視されていた ＤＦ陣も５試合終わって１失点と堅実な守り。ただ、キャプテンを務める徳永は５戦ともフル出場。攻守ともにその存在は大きいだけに疲労の蓄積がプレーに影響しないか心配ではある。次は初戦、今日のモロッコ戦と同じアルサンジャックスタジアム「ぼこぼこでやりづらい」ともらす藤本だが、このスタジアムで初戦に２点、今回２点の合計４ゴールを生んだ相性のいい場所であるだけに、ファイナルで大黒さまならぬ「藤本さま」のゴールに期待したいものだ。

（荒川好和）

8 月 18 日 18:00 アルサンジャックスタジアム

日本 2（0－0 / 2－0）0 モロッコ

得点者(アシスト)

【日】47 分:藤本淳吾

【日】80 分:藤本淳吾

JAPAN	MOROCCO
GK⑫時久省吾(3)	GK①JALIL
DF②徳永悠平(4)	DF②TIR
DF③小宮山尊信(3)	DF⑤ALAOUI MDAGHRI
DF④秋葉陽一(4)	DF⑯NAJIM
DF⑤登尾顕徳(4)	DF⑰NEJIM
MF⑦伊野波雅彦(2)	MF⑥LAAOUNI
MF⑧兵藤慎剛(2)	MF⑦BENTAFRIT
(64 分⑪原　一樹(3))	(60 分⑧KANDOUSSI)
MF⑩藤本淳吾(4)	MF⑩LOKSAIRY
(89 分⑬廣井友信(3))	(89 分⑬DEL AL)
MF⑭衛藤　裕(4)	MF⑪AMAL
MF⑯辻尾真二(2)	(52 分⑱MARZOUK)
(87 分⑮金澤大将(4))	FW⑨SOUARI
FW⑨赤嶺真吾(4)	FW⑳MAZOUZ
(46 分⑲巻　佑樹(3))	(66 分⑮ELEMNASSFI)
S U B	S U B
GK①赤星　拓(3)	GK⑫STRANNEO
GK⑱飯塚　渉(2)	DF③FISCHER
MF⑥池上礼一(4)	DF④PANARIO
FW⑰小松　塁(4)	DF⑭BARRENECHEA
FW⑳高橋大輔(4)	DF⑲RAINERI
MANAGER 乾　真寛	MANAGER MOUDNI

警告(C)／退場(S)

【モ】52 分:TIR(C)、64 分:MARZOUK(C)
78 分：LOKSAIRY(C)、78 分：NEJIM(S)
80 分：NAJIM(C)

[主審]ARZIMAN